

平成25年度  
(第2四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

### 株式会社 広貫堂

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比98.2%、計画比96.9%の実績に終わりました。これは、売上構成金額の大きい医薬品事業部の好調な伸びの反面、グループ会社の薬都広貫堂の売上が落ち込んだことが主要因です。収益面では、生産増及び呉羽工場の償却負担が昨年度より減少したこと及び販管費のコスト削減効果により順調に推移いたしました。しかし、雑収入である助成金等の減少により、経常利益は前年同期より8700万円減少いたしました。

会計処理として今年度より配置の交換薬制度に伴う「返品調整引当金」の計上が始まりました。また9月末では、呉羽工場の棚卸評価損2700万円、広貫堂薬品販売及びトキワ広貫堂の貸倒引当金を8500万円を計上しております。

(事業運営面)

医薬品事業部(受託、CMO)を除くOTC事業、グローバル事業、ショップ事業の本体売上3部門に関して上期の実績は十分とは言えませんが、今年度重点戦略としております、意思決定のスピードアップと確実性を図って参りたいと思います。

#### ○ 課題への取組み

今年度の経営計画にある「会議体の再編」を半期を終え、更に再編を進めいたしました。下半期の新たなテーマとして「原価」「品質保証」を重点的に取り上げております。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 昨年度に続き7月10日～7月12日開催のインターフェックスジャパンへ弊社ブースを出展しました。昨年より多くの来場者がありました。
2. 8月31日～9月2日に「出会いが効く 富山くすりフェア」を北陸自動車道(上り線)有磯海サービスエリアにて参加いたしました。
3. ベトナムに現地法人「廣貫堂ベトナム」を設立いたしました。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第2四半期、平成25年4月～9月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	5,473,148	5,464,802	5,747,448	5,645,376
経常利益	-1,967	-212,498	68,027	-18,808

### 広貫堂グループ

#### ○ 連結経営成績に関する定性的情報

売上面では日本薬剤が前年同期比107.3%、医薬品事業部受託製品の増加により前年同期比102.8%と好調でありました。しかし薬都広貫堂が前年同期比86.2%が響いて、連結の売上高は前年同期比94.3%で推移し、売上原価は前年同期比91.6%、販売管理費が前年同期比84.5%とコスト削減に努力いたしました。また会計処理として今年度より配置の交換薬制度に伴う「返品調整引当金」の計上、呉羽工場の棚卸評価損2700万円を計上した結果、経常利益1億600万円の実績となりました。

#### ○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第2四半期、平成25年4月～9月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	6,804,490	6,851,668	7,372,013	6,959,246
経常利益	39,306	-171,599	-110,629	106,077

平成25年度  
(第2四半期)  
グループ各社

## 広貫堂グループ IR情報

### 薬都広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では昨年度発売した新商品については順調に推移しておりますが、既存配置用医薬品の低迷に有効な打開策を取れず、売上高は前年比86.1%、目標比88.6%となりました。経常利益は期首に引当てた、返品調整引当金および一般債権に対する貸倒引当金の戻し入れにより、大幅な増益となりました。

(事業運営面)

配置市場に求められる製品を開発し、販売すること、および製品の適切な統廃合を推進いたします。また、懸場保全是もとより、製品とサービスを組み合わせた新たな配置ビジネスモデルの構築に取り組めます。

#### ○ トピックス、適時情報

##### 1. 新発売(7月~9月)

第2類医薬品 : ビーエスバンFRテープV  
入浴用化粧品 : 熱汗美人

#### ○ 業績の概況 (第2四半期、平成25年4月~9月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	1,784,741	1,707,694	1,716,383	1,478,955
経常利益	8,618	12,238	-6,978	72,863

### 日本薬剤 株式会社

#### ○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上面では、100mLドリンクなどの販売増が寄与し、前年同期比107.2%の25億6200万円となりました。経常利益は前年同期比96.0%の6500万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部および食品事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しております。

#### ○ トピックス、適時情報

##### 1. 新発売(4~9月)

医薬品 : 100mLドリンク 3アイテム、かぜ薬 1アイテム、胃腸薬 1アイテム、葛根湯内服液 2アイテム  
食品 : 経口補水液500mL 1アイテム、炭酸飲料120mL 1アイテム

#### ○ 業績の概況 (第2四半期、平成25年4月~9月)

(千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	2,114,601	2,347,213	2,389,025	2,562,402
経常利益	71,110	87,513	67,927	65,236

平成25年度  
(第2四半期)

## 広貫堂グループ IR情報

グループ各社

### 広貫堂薬品販売 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では前年同期9億7500万円に対し10億500万円、前年同期比103.1%となりました。経常損失は前年同期1億1100万円に対し6800万円にて推移いたしました。

(事業運営面)

1. 第1四半期より実施しておりました売上による適正人員の配属が完了いたしました。
2. 塩野義製品の取扱を全国営業所にて開始いたしました。
3. 通販事業とのコラボレーションにて『漢方ゲルマテープ』の取扱を全国営業所にて開始いたしました。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 事業見直の一貫として平成25年9月末日をもって一宮営業所を閉鎖いたしました。
2. 富山地区にて富山東営業所を閉鎖し富山・富山西に統合を実施いたしました。
3. 本年度新卒者を7月より、関東・神奈川・東海・西日本地区に配属いたしました。

#### ○ 業績の概況 (第2四半期、平成25年4月～9月) (千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	962,033	964,106	975,416	1,005,809
経常利益	-2,766	-29,889	-111,094	-68,495

### トキワ広貫堂 株式会社

#### ○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比99.2%となりました。経費面につきましては、販売費及び一般管理費等のコスト削減に努めて前年同期比94.8%となりました。経常損失は、前年同期1910万に対し1560万となりました。

(事業運営面)

8月からテリトリーの見直しを行い営業効率を高めると共に、更なるコスト改革も行っております。又9月より葛根湯内服液、ファイトタイムを中心に配下数を増やしており販売に寄与すべき取組みを強化しております。

#### ○ トピックス、適時情報

1. 8月5日第三回トキワ広貫堂取締役会を開催いたしました。
2. 6月～8月迄透白美人強化月間として愛用者作りに邁進しております。  
新規取り扱い商品【第三類医薬品】ポポンメグルーナ

#### ○ 業績の概況 (第2四半期、平成25年4月～9月) (千円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
売上高	176,568	145,269	109,262	108,431
経常利益	-9,117	-24,376	-19,095	-15,564